

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.215)

1. PCB処理安全監視委員会について

2月4日(金)に、令和3年度第3回「豊田市PCB処理安全監視委員会」(主催:豊田市)が豊田PCB処理事業所で開催されました。

今回の監視委員会は新型コロナウイルスへの対応として、参加者を監視委員会委員、豊田市、愛知県、環境省及びJESCO等に限定するとともに、換気の徹底、手指のアルコール消毒、マスク着用をして開催されました。

JESCOからは、豊田PCB廃棄物処理施設の処理実績や進捗状況、周辺環境への影響の状況などを報告し、PCB廃棄物処理が順調に進んでいることをご確認いただきました。

豊田市からは、豊田PCB廃棄物処理施設への立入検査の状況、令和3年度PCB環境モニタリング調査結果及び令和3年12月24日に開催された第1回作業部会で解体撤去について協議された内容等について報告されました。また、環境省からの検討要請について市議会及び地元住民等から出された意見等について報告されました。

当事業所の処理エリア(愛知、岐阜、静岡、三重)の県及び政令市を代表して、愛知県から東海地区PCB廃棄物処理計画について説明がありました。



委員の方々からは、処理が完了するように、JESCOについては安全操業の継続を、行政については掘り起こし等の取組みの一層の推進を求めるご意見がありました。

また、環境省にはJESCOの処理が終了した後に新たにPCB廃棄物が発見されることがあった場合の対応について整理するよう要請がありました。

2. 大型トランスが搬入されました

1月14日(金)に大型トランスが搬入されました。写真は地下の保管場所から搬出するため、事前にPCB油を抜油した後、部品を取り外された変圧器の筐体です。

トランスは変圧器ともいわれ、利用目的に応じて電圧を変えるための機器です。一般的なトランスは工場やビルなどの屋上や地下などに設置されています。

今回搬入された大型トランスは保管事業者の工場の地下に設置され、保管されていた海外製2台のうち最後の1台です。

保管場所から搬出するための作業スペースが狭く、事前にPCB油を抜油した後、付属部品を取り外し、地上に揚げて搬出しました。なお、取り外した部品は2月16日(水)に搬入されました。

東海エリアの大型トランスの処理はこれで完了予定です。



PCB処理事業紹介シリーズ 第47回

豊田事業所では安全・安心を旨に作業を行うため、JESCO社員、運転会社社員に安全教育を行っています。

今回は、豊田事業所で行われたフルハーネス型墜落制止用器具使用作業特別教育についてです。



令和4年1月より、転落防止に使用されていた安全帯の規格変更が行われ、新規の「墜落制止用器具(胴ベルト・フルハーネス)」を用いることが義務付けられました。

特に6.75mを超える高さでの作業は、フルハーネス(写真参照)を使用することになっています。このフルハーネスは、装着に特別な知識が必要であるため、2月2日(水)に外部講師を招き豊田事業所内で集合教育を実施しました。

豊田事業所の通常業務では、このような高所での作業はありませんが、今後行われる高所での点検や工事を安全に実施するため、これからも教育を実施していきます。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

